

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	第3回川西市PTAあり方検討会		
事務局 (担当課)	社会教育課		
開催日時	令和元年11月17日(日) 10時から12時		
開催場所	川西市役所 7階 大会議室		
出席者	委員	野崎構成員、福本構成員、川原構成員、古谷構成員、 秋葉構成員、大田構成員、山科構成員、大村構成員、 熊手構成員、岡田構成員、高月構成員、小和田構成員	
	その他	教育委員1名	
	事務局	若生教育推進部長、中西教育推進部副部長、 大屋敷社会教育課長、井関社会教育課長補佐、 田中社会教育課課員	
傍聴の可否予定	可	傍聴者数	35人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第	1.開会 2.報告 (1)第2回川西市PTAあり方検討会の振り返りについて 3.議題 (1)PTAの活動内容について PTA活動に関するアンケート結果について PTA活動で大切にすべき点について 4.次回の開催について 5.その他 6.閉会		
会議結果	審議経過の通り		

審 議 経 過

	<p>【開会】</p>
座長	<p>— 座長あいさつ —</p>
	<p>— 出席者確認 —</p>
事務局	<p>— 資料の確認 —</p>
座長	<p>— 会議の流れ説明 —</p>
座長	<p>報告(1)第2回川西市PTAあり方検討会の振り返りについて、事務局より説明をお願いします。併せて検討会終了後の教育委員会事務局の動きについても説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(第2回川西市PTAあり方検討会の振り返りについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料1に基づき、第2回検討会において議論された「役員の選出について」「PTAの活動内容について」説明。 ●PTA連合会から提供のあった「入会届(案)」「会費引落委託同意書(案)」「退会届(案)」「委任契約書(案)」はひな形であり、どのように使用するかは単位PTAの判断であること、また、時期についても、単位PTAで検討いただくこととなった旨を説明。 ●第3回検討会では、「PTAの活動内容について」引き続き議論を進めていくこととなった旨を説明。 <p>(検討会終了後の教育委員会事務局の動きについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●校長会議及び教頭会議で、第2回検討会の内容等の説明を行った旨を説明。 ●検討会の座長から各小・中・特別支援学校長と各市立幼稚園園長、各PTA会長に資料2をお知らせした旨を説明。 ●広報誌11月号で特集がされた旨を説明。
座長	<p>今、報告があったとおり、報道機関、広報も含めてかなり川西市の取り組みが周知されるようになった。私の大学にも川西市の学生がおり、「先生見たいよ」と言ってくれ、世間の関心が非常に高まっていると感じている。</p> <p>各構成員が所属する団体で何か動きがあったところについて、説明をいただければと思う。</p>

<p>構成員</p>	<p>特別支援学校・小学校校長会では、第1回・第2回検討会以降、また、教育委員会事務局からの校長会での説明以降、入会届、任意加入、会費の徴収、個人情報取り扱い、役員選出方法については、早急に改善・対応していくことの共通理解ができている。ただ、各校でそれぞれの状況等があり、学校間の統一はできていない。今年度すでにアンケートや臨時総会を行い、取り組んでいる学校もあれば、来年度の総会に向けて動いている学校もある。それぞれの学校の実情に合わせて進めているのが現状である。また、それに並行して、PTA活動の内容のスリム化・見直し等に関してもそれぞれの学校において少しずつ取り組んでいるところである。ただ、特別支援学校・小学校校長会において、入会届、任意加入等のことや活動内容の見直しのことなどがどの程度進んでいるのか、いつまでにどこまでやるのかというような各学校の具体的な取り組みや進捗状況などの交流は深くできていない。各校の管理職やPTA会長、総務役員の中にも、どのように進めていけばよいのかなどの困り感もあるため、校長会としても、今後はしっかりと交流していこうと考えている。</p>
<p>構成員</p>	<p>中学校長会では、8月の定例校長会議の中で教育委員会事務局からPTAの課題について説明があった後、その日のうちに7校の校長と各校のPTA会長と交流会という形で会議を持った。その中で、PTAの改革を進めていかなければならないという共通認識を図った。また、今後どのように進めていくのかは各校状況が違うため、各校の課題を考えながらできるだけ早いうちに入会届等の対応をしていくという話をしている。</p> <p>PTA活動のスリム化を図ること、負担感少なくPTA活動に参加してもらえるような状況を作ることを優先しなければならないのではないかという意見があり、各校で校内のPTA活動や地域と関わるPTA活動等について取り組みをしているところである。</p> <p>秋になり、総務役員を選出しなければならない時期を迎えた。本校では先週の土曜日にPTAの選出会を行った。昨年度と同じ形で行ったが、今までのように選ばれた方に承諾してもらえるまで長い時間をかけるのではなく、一度持ち帰ってもらい、家族と相談のうえ、納得して承諾してもらえるような形をとった。現在、PTAの総務役員は選出されていない状況である。スリム化をまず実施してから入会届をとるということで進めてきたが、PTAの入会をはっきりさせ、その状況を分かってもらったうえで総務役員の選出を進めていかなければならないのかなと考えている。</p>

	<p>各校でも同じような状況が生まれていると聞いており、中には、もう決まったというところもあれば、まだ決まってない、あるいはこれからというところもある。</p> <p>今、PTAが変わろうとしている中で、PTAの総務役員を引き受けるということは、本当に勇気や覚悟が必要なのだろうと思う。例年通りの形で進めるのであれば今までのマニュアルに沿ってできるが、これから先どのように変わっていくのか不透明の中で引き受けるのは非常に不安が大きいことと思う。それをカバーするのは、その学校の校長または教頭であり、一緒に相談に乗りながら、一緒に考えていくという姿勢がより一層必要になると思っている。今までも相談はしてきていると思うが、さらに協力体制・バックアップ体制をとっていくように校長会でも話を進めていきたいと思っている。</p>
<p>構成員</p>	<p>私の幼稚園では、9月に来年度の年長委員選出をした。来年度の年少園児数は今のところ1桁であるため、委員選出において組織をどのようにするか保護者会と話し合いを進めてきた。今年度は会長1名、副会長2名、書記2名、会計1名の6名でやっているが、来年度は会長、副会長、書記、会計を1名ずつとし、年長と年少をどのように分けるか検討していた。実際、10月の願書配布で年少園児数1桁が見えていたため、年長で4役をすることができないか、また年少はクラス委員として負担のないようにできないかなど、保護者会を中心に意見を出し合いながら来年度の組織を改正し、今後もその年のニーズに応じた見直しができるかと考えているところである。</p> <p>保護者同士、送り迎えの時に話しやすい環境であるため、少しずつ保護者の思いに寄り添いながら進めている。活動のスリム化については、来年度入園の年少が年長になる2年先を見据えて見直しができるかと考えており、現在活動している保護者会役員が実際に感じたところから話し合っている。</p> <p>地域に関しては、お世話になっている活動の1つとして、保護者会主催で地域の小学校の調理師さんに来てもらい、子どものためのメニューや食に対する悩みを聞いてもらう講演会を行った。その際、乳児を抱えた保護者が講演会に参加しにくいと、コミュニティや主任児童委員に相談し、子守りボランティアとして協力依頼し、乳児を抱えた保護者も講演会に参加できる環境を整えた。保護者会と地域が力を合わせながら本園は動いているところである。</p>
<p>座長</p>	<p>PTAの1つの役割として、子どもたちのためにということもあるが、それ以外に親の学びや、先生の学びといった「学ぶ」組織という役割があるということが、今の話で理解できた。</p>

<p>構成員</p>	<p>私の中学校区では、中学校の役員選出が終わったと聞いている。来年度は男性の方が立候補で会長になり、その後役員の選出も済んだと聞いている。中学校はコミュニティスクールになっており、私は運営委員という立場で関わっている。その中で、地域へもっと生徒を学ばせたいと学校長から提案があるし、また、地域の方が今PTAがしているような学校内での仕事の手伝いをボランティアで募集しようと、PTAの職務を地域としてできることはやっていこうという話が出ている。その運営委員会の中には3つの小学校の地区からの代表者も出ているため、非常にうまくいっている模範かなと思う。</p>
<p>構成員</p>	<p>同じくコミュニティであるが、今の話とは状況が異なり、なかなか難しい問題を抱えている。PTA問題が始まった時に、中学校を先頭にし、2つの小学校の3校と一緒に、コミュニティへ相談に来られ、コミュニティとしてはできるだけの協力はしたいと伝えてある。今日の資料を読み、負担に感じる活動のところであるが、コミュニティ、地域に関係することをPTAはほぼ負担と感じているとなっている。原因は、忙しいということだと思うが、PTAのPの役割を考えた時に、子どもの姿がそこに見えない場面であっても保護者の働きは必ずあるはず、「子どもがそこにも関わらず、たくさん仕事が回ってくる」と書いてあるが、子どもがそこにいるから関係があり、いないから関係がないというのは、大きな間違いだと感じた。幼稚園の頃はいつも近くに子どもがいる。それは子どもが小さいため、子育ての段階では当然である。それが、小学校・中学校・高校となれば、子どもはどんどん離れていくのが当然である。Pの役割を考えた時に、子どもの姿がそこにはないから関係ないと思っているのは違うと思う。</p> <p>私の地域には中学校1つと小学校が2つある。この問題が浮上したころは、来年度から「任意加入」のこと、「PTA会費の支払い」のこと、「個人情報取扱い」のことの3つをクリアするべくそれぞれ活動されていたが、各学校で温度差があり、なかなか足並みはそろわないようである。また、近々、青少年育成市民会議があるのだが、3校が同時に次のステップというようにはなかなか進めないと報告をされると聞いている。このことは、各学校温度差があるため、当然のことだと思う。その辺は、PTA連合会に上手に引っ張っていただき、色々と協力してもらえれば、地域としてありがたいと思っている。</p>
<p>構成員</p>	<p>私の中学校PTAではあり方検討会の結果を受け、書面で会員に改めて任意団体であるということを伝え、同意書を今後導入していく予定であるということと、規約や仕事の見直しを進めていくということをお知らせした。秋の委員選出の時には免除項目のところで、病気の方などへ今までは診断書の提出</p>

<p>構成員</p>	<p>を求めていたが、それはなくし、選出の時にみんなの前でできない理由を報告しなければならないということもなくしている。また、選出前に再度任意団体であるということ伝えてから選出を始めた。</p> <p>今後は規約などを変えていくにあたり、手紙で、規約を変えていくということを全会員に知らせることと、また、みんなの意見も募りたいと考えている。PTA 連合会がアンケートをとる前に、独自に中学校内で全会員に簡単なアンケートをとっている。</p> <p>特別支援学校では任意加入、入会届と個人情報についての同意書はすでに導入していた。退会届については、まだ何もされていないため、取り扱いをどうするのかということがある。また、会費の徴収方法については、学校と委任契約をするという方向で進んでいる。</p> <p>地域の小学校に末っ子が通っており、私は地域の小学校の一般会員でもある。そちらに関しては、入会届・退会届をとる方向で動いているという情報だけが手紙で来て、いつ導入されるのかということは知らされていない。その中で総務選が行なわれたため、一般の会員は非常に混乱した。「入会届をどうするのか」、「総務役員を断ることができるのか」、「総務役員を断った場合にPTAに入れてもらえるのか」など、細かい疑問が飛び交った総務選になった。これから順を追って情報が開示されると思うが、もう少し早い提示の仕方もあったのではと思った。</p>
<p>構成員</p>	<p>単位 PTA では、今年度は全体の 4 分の 1、来年度も 4 分の 1、3 年後に半分が入会届をとり、PTA の構成を固めていくという方向で動いているという報告を聞いている。その時に、入会届をとることによる入会者の減や役員のなり手の減が問題となるため、活動を見直さなければならないということになっている。</p> <p>洋食店へ行き食事するとき、ショーケースを見てどのようなものがどれくらいの価格で提供されているのかを納得して店に入り、サービスを受けるのが当たり前だと思うが、今までの PTA にはこのショーケースがなかったのではないかと思う。したがって、来年度 PTA 連合会では、一旦今までの活動を休止し、現場の悩みを解決するために、PTA の必要性や活動内容をまず会員に伝えに行く。もう 1 つは役員に役員の PTA 活動への考え方や仕事内容を説明しに行くという役割を担おうと思っている。</p> <p>川西の PTA はほぼ 1 年で役員が変わるため、PTA とはどのようなものかしつかりと説明を受ける機会がなかなかない。その部分を PTA 連合会が補っていかうかなと思っている。その時に、コミュニティに伺い、地域の活動内容を教</p>

	<p>えてもらい、新鮮な情報を説明しに現場へ伺いたいと思っている。各単位 PTA にも伺いたいと思っている。各単位 PTA での良い事例があれば全市的にお知らせし、分かりやすく説明したいとも思っている。他市にも PTA の説明書はあるが、非常に分厚い資料で、読んでも分からず、誰も全部読まない。PTA 連合会では分かりやすい資料を作り、現場に行き、みんなに分かってもらうための活動を来年は始めたいと思っている。</p>
<p>構成員</p>	<p>PTA 連合会としては、単位 PTA が改革に向けて進んでいる今、一歩先をめざし、単位 PTA が改革したときの実情に合うように PTA 連合会の組織を改革していく必要があると考えている。</p> <p>具体的には、広域顧問制度のような相談ができる立場を設けるということもあるが、PTA 連合会自体の委員会を廃止することをほぼ決定している。PTA 連合会の常任理事会でも知らせている。具体的な内容についてはこれから考えていくところであるが、今まで各校で 3 名から 4 名の委員を PTA 連合会へあて職で出してもらっていたが、来年度からは完全に廃止するということを各単位 PTA には説明している。単位 PTA が改革を進めるうえで、なかなか役員が決まらない時に、PTA 連合会に人を出すことは難しくなってくると思うからである。その時の実情に合うように、まずは PTA 連合会が改革を進めていかなければならないという思いでやっている。今年度からは、様々なイベントや講演会の動員は廃止にしている。来年度以降は委員会を廃止するとともに PTA 連合会で主催しているイベント自体も廃止していこうとしている。単位 PTA の改革に特化した PTA 連合会にしていこうという思いでやっている。また、規約の簡略化ということで、単位 PTA で規約を変えようという動きがあるが、単位 PTA のお手本になるような規約を作れるようにするため、まず PTA 連合会の規約を簡略化していこうと進めている。</p>
<p>座長</p>	<p>各組織でかなり前向きな形での取り組みの報告をいただいた。 その他に何かあるか。 時間も押しているため、一旦ここで切らせていただき、議事を進めさせていただきます。</p> <p>それでは 3. 議題に進めさせていただきます。(1)PTA の活動内容について、この後残りの時間議論をするが、議論を進めるうえでの話題提供の意味を含み、PTA 連合会が「PTA 活動に関するアンケート」を単位 PTA にしてもらい、まとめてもらっているため、報告いただきたい。</p>
<p>構成員</p>	<p>(PTA 活動に関するアンケートの説明)</p>

座長	<p>詳細な報告ありがとうございました。傍聴者の方も理解できる話であったかと思う。</p> <p>それでは、議事に進みたいところであるが、時間が1時間強経過しているため、少し休憩をとりたいと思う。</p> <p>— 休憩 —</p>
座長	<p>検討会を再開させていただく。</p> <p>アンケート結果については、ここに書いてあることがすべてではないということと、みなさんは何よりもPTAが大事だということを考えたうえで取り組んでおられるということが理解いただけたのではないかと考えている。報告ありがとうございました。</p> <p>それでは、残りの時間で議題の(1)の後半部分、PTA活動で大切にすべき点に進んでいく。「見直してもいい」「残してもいい」「残すべきだ」という話の中で「負担には感じるのだけでも大事」、もしくは「もっとここは強化していきたい」という部分で、PTA活動の大切にしていきたいこと、しんどいが残していくこと、というところに話を進めていければと思っている。</p> <p>フリーディスカッションということで構成員の忌憚のない意見をいただければと思う。</p>
構成員	<p>11月20日にコミュニティの会長が集まる連合会長会が開催される。その席でPTA連合会の会長に来てもらい、各コミュニティの会長に現状や取り組みの様子を説明してはどうかと助言させてもらった。今、もらった資料だけだと誤解が生まれるのではないかと考えるため、コミュニティへ口頭で説明する必要があると思う。先ほど「この紙を見ただけならすごいと思うかもしれないが、実際は違う」と説明を受け、ある程度納得ができるため、そうやってくれないとPTA自体に傷が入ってしまうのではと私は思う。ぜひとも、良くなるように改革を頑張っていただきたい。当然学校側も協力する必要があると思うし、地域も協力してやっていく必要があると思う。ただ、会議が多いと言う方がいるが、話し合いが足りないため、このような溝ができていると思う。私たち年寄りには若い方に時間を合わせるため、何とか話し合いの場を持っていただくようにしてほしいというのが私の希望である。</p>
構成員	<p>今、PTAの活動が強制だから負担感があるという話や、色々なことを聞いていたが、根本的に違うと思った。授業参観には子どもの姿がそこにあるからた</p>

	<p>くさんの保護者が来られるが、クラス懇談になると少なくなる。子育ては、自分の目で見える範囲に子どもがいる時だけの子育てだと思っておられるようである。本当はそれだけではない。</p> <p>自分の子どものことは気になるが、クラスの色々な問題はお任せしますというような感じがみられる。それが資料では子どもに関係あるところと書かれているとおもうが、そこは大きな誤解である。</p> <p>子どもを育てるのにはきちんと地域の土壌があって、その上で子どもが育っていくわけである。家庭の土壌があって、その上でその子が育っていくわけですから、人権の講演会参加が子どもに関係あるかないかは、保護者の考え方ひとつである。保護者が勉強されたらよいわけである。そこで家庭の土壌ができるのである。親がもっと広く社会の一員として P の役割をどのように担っていくかを、PTA のことだけでなく社会の一員として考えていかないと日本の未来は大変なことになる。非常に不安になるのが、正直なところである。</p>
座長	<p>先ほど申しあげた「学ぶ」という組織体というところだと思う。親の資格ができて子どもが生まれるわけではなく、子どもと一緒に育つということだと思う。PTA は、1つの大きな学習の場というか、地域のことや社会全体の子育ての事を学んでいく場ということだと思う。</p> <p>他にいかがか。</p>
構成員	<p>周りの環境は非常に大事だと思う。学校生活は集団生活であるため、周りの友達が幸せでなかったり、関わってくれる先生がしんどくなってしまうたら、自分の子どもが楽しくいられる環境ではなくなってしまう。でも、そのような環境は、いくら自分の子どもにだけ手をかけても作っていけないと思う。そういう意味で PTA は自分の子どものためだけに動くのではなく、その学校に通う全ての子どものために活動できるということが存在意義だと思っており、大切にすべきところだと思う。それができるのが PTA だと思う。</p>
構成員	<p>昔は3世代で協力して子どもを育ててきたが、今は核家族化が進み、さらに母親も働かざるを得ない状況が出てきている。でも、愛情は昔と一緒だと思う。愛情を取り戻すために少し今、削減が必要なのかなと思う。一旦少し活動を見直すことをしっかりとみんなに伝えていきたいと思っている。</p>
構成員	<p>先ほど特別支援学校・小学校の方でも、PTA 活動のスリム化・見直しについて少しずつ取り組んでいるという話をした。その中で注意しなければならないと感じているのは、あまりに PTA 活動の見直しを急ぎ過ぎて、負担軽減が先</p>

	<p>走りしてしまうことである。しんどいからとか負担になっているからということだけで活動を削っていってしまうのは、少し危険ではないかということである。それぞれの学校・地域で長い歴史がある活動や取り組みなど、それはなぜあるのかというところをしっかりと検討していく。本当に必要な活動なのか、子どもにとって大切なのかというところを十分議論しなければならないということである。これは、校長会でも話が出ている。</p>
<p>構成員</p>	<p>PTA は、学校にとっては大きな存在だと思っている。</p> <p>もちろん、小学校と中学校では多少違うと思うが、小学校であれば、子どもに直接関わるような支援・取り組みが多いと思う。中学校は、子どもに直接関わるようなことは少なくなってきたと思う。多少の違いはあるが、学校としては、これから色々変わっていかねばならない時に、PTA は保護者の意識や考えを聞ける存在ではないかと思っている。神戸の学校で、PTA と学校運営について相談されているのと同じように、そのような相談ができる窓口になるのではと思っている。本校でも、9月の終わりに実施していた体育大会の日程変更を考えていく際に、土曜日、日曜日がなかなか取れないということが分かり、平日開催にしたらどうかという相談をPTAの運営委員にした。そのような相談や、保護者が思っている色々なことをPTA役員を通して知ることができる大きなパイプ役になるのではないかと思っている。もう1つは、学校としては地域も非常に大事であり、関係づくりも大切にしていきたい。その中でも負担感のあるものは、学校とPTAと地域の各団体とコミュニケーションを取ってすり合わせをしていく。そういう意味でも非常に大切な存在であると思う。</p>
<p>副座長</p>	<p>私の前の学校でも、今の学校でも実施した改革については、アンケートを取り、その数字を重視した。色々な背景があり、今まで続いてきた歴史もあるが、基本的に今の保護者の考え方を把握するためにアンケートを取り、多くの数字が上がったものとして、例えば専門委員がある。育成委員のパトロール、文化委員の生け花の研修会、広報委員の広報誌作成などあまり意義が分からないと言われている学校の中の活動についてはすぐにやめていった。</p> <p>外の話、つまり地域の手伝いや学校行事の手伝い、例えば体育大会の時の自転車の整理といった職員だけではできず、保護者にしていただいていることについては年間のエントリー制を取り入れた。4月の当初に年間の仕事を示し、選んでくださいというやり方である。今はフルタイムの方が多いため大好評であった。専門員会を廃止してエントリー制を入れただけでも相当スリム化が進んだ。</p>

明石市のある中学校ではPTAがなくなった。今、そこでは、世話係の人が行事ごとに必要な手伝いを取りまとめてやっている。面白いことに、この前の体育大会の自転車の片づけには10人くらいしかいなかったにも関わらず、希望者が60人いたと聞いている。シンプルに仕事だけを学校にエントリーするやり方に変えている。同じ明石市の小学校では入会届をとると3割になってしまった。となると、上部組織にお金を払っていく余裕がないため、そのような組織から退会していくしかない。かろうじてPTAという組織を残すことができ、今、必死に来年度の人へ「PTAに入ってください」と言っているが、スリム化をしなければ入らない状態である。どれだけすばらしいPTAでも、加入届を取った時に100%にはならないと思う。本校では、この会場の傍聴者ぐらいの人数の方が毎回学校に来て、学校のことをとことん話し合う。耳の痛いことがたくさんあるが、学校がそれを正面に受けとめる必要がある。PTAの仕事は、子どもたちのために学校の先生と協議をして、アイデアを出していくことである。そういうことを原点に戻ってやっている。例えば、地域の祭りを本当に子どもたちが楽しんでいるということになれば、逆に地域活動への参加も強化されていく。

もう1つ、学校の多忙化がある。中学校は6割の先生が過労死レベルと言われている。今まで抱えるだけ抱えてきた。それを今、返していくのだが、「私たちは今までこれだけやってきたから保護者へ返します」では駄目だと思う。しっかりと保護者と話をし、返すものは返していく。文部科学省は保護者や地域に返せという。ただ、地域にとっては「そんな都合の良いこと言われても」という気持ちが絶対あると思う。よって、子どもたちのために今保護者や地域や学校は何ができるかという原点に戻ってしっかり話しあうことが大事である。コミュニケーションをしっかりと取り、やっていくことが必要だと思っている。

構成員

幼稚園は任意加入であるということは周知しているが、加入届などの話が出なくても、みんなが必然的に入ってくれている。それは、「毎月保護者会費をいくら集めます。そのお金がこういった形で使われています。」というようなことがきちんと届いているため、保護者会に入らない保護者がいないのかなと思っている。役員を選ぶ時に今までは未就園児を抱えている保護者は対象外にしていたが、それも通用しなくなってきている。来年度や再来年度の役員はすでに未就園児を抱えた保護者もしてくれることになっているが、大きな揉め事もなく「今までと違うけど、こんな感じでやってみようか」というような話し合いで成り立っている。幼稚園の保護者会で大切にすべき点は、負担に感じていることもあるが、すべてが子どもたちの行事に関わっていること

	<p>であるため、「しんどいが、みんなで知恵を振り絞ってやろう」となっていることかなと思う。</p> <p>役にあたり、初めて阪神間の幼稚園こども園の PTA 連絡協議会にも出席することになっていることを知った。園単位の仕事を見直すことはできているが、外に会長が出ていくという仕事は断れない。外への仕事に関してはその年度の会長が何を言っても変わらない。ここに参加しなくても良かったら、もっと川西市の活動や自分の園の活動に力を注げるのではないかと思える。阪神や県などの集まりについては、市と話し合いをしながらできればよいなと思っている。</p>
座長	<p>単位 PTA の存在とは別に連合体である、県幼 P との関連での負担感ということですね。</p>
副座長	<p>私が今、勤めている学校には小学校が 2 つあるが、そのうちの 1 つの小学校には PTA がない。20~30 年ぐらい前に、揉めるに揉めて神戸市で初めてそれまであった PTA をやめてしまった小学校である。誰が代わりをしているかというと、揉めた親の親の世代である自治会が PTA の仕事を引き受けたのである。今も、その小学校の音楽会へ行くと受付はおじいさんおばあさんがしてる。それが、私の中学校へあがってくる。その保護者に感想を聞くと、今の私の中学校のやり方の PTA を体験して「PTA はありがたい」と言ってくれる。理由は、PTA がなければ学校とのチャンネルがないからである。保護者会という形はあるが、チャンネルがないのである。よって、子どものためにと考えたことが全く学校へ提案できなかつたのである。そのような人たちは、「PTA はありがたいし、絶対子どもたちのために必要だ」とは言っている。分かりやすい事例ではないかと思う。</p>
構成員	<p>幼稚園では、今回保育無償化の関係で園児数が激減している。阪神地区の PTA 連絡協議会に会長とともに行ってきたが、その中でも園児数の激減ということで、他市も今後の阪神への参加の難しさについては話題になっていた。川西市では県幼 P も加入している。総会となると非常に遠方になるため、園長が参加して会長は行かなくて済むように配慮しているが、今後は阪幼 P においても検討が必要かと感じている。</p> <p>先ほど、「意見を出しやすい環境が必要だ」「話し合いが足りないから溝ができるのでは」と話が出ていたが、私は思いが伝えやすいように感じている。本園 50 周年の会を開催する時も、地域へ感謝を伝える会にしたいことを市教委に話したり、地域には、地域のニュースに記事掲載の依頼をしたりし、また</p>

<p>構成員</p>	<p>保護者会からは「何か手伝えることはないか」と声があがるなどあり、有難く思っている。日頃から悩みやしんどいことなど何でも言える関係性がある中で、できることを少しずつ積み上げていくことが大事ではないかと思った。</p> <p>スリム化もさることながら、前回、魅力を感じる PTA という言葉が出ていたが、例えばスリム化するだけで魅力を感じる PTA になるのか。何に魅力を感じるのかなと思った。強制ではないことが魅力なのかなど、もちろん自発的であることが一番であるが、何が PTA の魅力だと感じているのかを教えてほしい。</p>
<p>副座長</p>	<p>私の学校では、スリム化をして楽になったというよりも、学校運営に入ってくるため、保護者に責任が増えた。例えば、先月であれば、女子のズボンを取り入れる議論をした。今までは学校が決めていたことであるが、私はそういうことはすべて保護者に任せている。毎月 50 人 60 人でしており、侃々諤々（かんかんがくがく）の議論がされる。英語検定や漢字検定も導入した。保護者が学級委員になれば来ることができるが、任意であるにも関わらず、毎月 1 回ほぼ欠席なしでみんなが来る。そこで学校運営のことを話し合い、学校が変わっていく。それが保護者にとり、自分たちの意見が学校を回しているという気持ちになるのである。それが一番の魅力だと言ってもらっている。</p>
<p>構成員</p>	<p>1 番に学校のことが非常によく分かるということが PTA の最大の魅力だと思っている。幼稚園・小学校・中学校と上がるにしたがい、だんだん学校のことが見えなくなってくる。先生との距離が非常にあり、初めて中学校に入れたとき、どのようなところか分からないし、先生がどのような感じなのかも分からない。役員として学校に行く機会が増えると子どもたちの様子も非常によく分かるようになり、先生との距離も非常に近くなった。そこが魅力かなと感じている。</p>
<p>構成員</p>	<p>PTA 役員をすると、先生からの意見を聞けるだけでなく、会員からの意見や困っていることを PTA の運営委員会で先生に言うことで、達成感を得られるところが魅力かなと思う。全てにおいてやりがいや達成感があるのかなと思う。先ほどのアンケートの中で負担に感じるものの回答には、自由が利かないことが多いと思う。前例踏襲でこの通りやってくださいと言われることが多く、今の役員がもっとこうした方がよいのではないかとっても、それが通用しない。「例年通りやってください」「例年通りやってもらわないと困ります」と言われることが多いため、そのようなところをもう少し緩やかにしてほしい。</p>

<p>構成員</p>	<p>い。同じことをやるが、もっと自分たちの自由なやり方を認めてほしいということがあるのではと思う。</p> <p>ファンクラブはその人の誠意やこの人を育ててやろうという気持ちで成り立っている。私はPTAは子どもファンクラブではないかと思っている。古い仏像を検査したら中に経典が入っていることがあるように、PTAという仏像があるとしたら、中に子どもファンクラブみたいなものがあるのではと思っている。原点はそこかなと思っている。そこに集えるような組織があり、地域も子どもファンクラブがあると言ってくれたら、そこに参加してくれるお母さんもいると思う。</p> <p>原点みたいなところをしっかりとおさえ、活動を考えていこうと思っている。</p>
<p>座長</p>	<p>予定されていた時間が迫っている。本日皆さんに議論いただいた内容は「我が子だけでなく、我が子以外の子どもたちに対してどれだけ思いが馳せられるか」というところ、そして「地域も含めてPTAといった組織が必要不可欠である」というところ、活動の中身については「学校運営への参画であったり、自分たちがしたい活動で子どもたちが利益を受けるものに対しては、忙しくても時間調整をしてやることについては、やぶさかではない保護者がたくさんおられる」ということ。「やらされ感というような、意義のわからないまま流されているような業務については負担感なり多忙感を感じる」というようなところであったと思う。</p> <p>ただ、全体の意見としては「PTAは必要不可欠というか、なくてはならない」、「地域にとっても子どもたちにとっても、何よりも学校にとって不可欠な存在である」というところは共通認識できたのではないかと思っている。</p> <p>第3回として議論いただいた協議については、一旦ここで終了させていただき、第4回につなげていければと考えている。</p> <p>それでは、次の第4回の開催について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局から第4回を2月1日(土)午後2時から2時間程度で、市役所2階202会議室において行う旨の報告)</p>
<p>座長</p>	<p>5. その他について、何か発言があればお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、市が関連する事業へのPTAからの参加について、庁内に調査をしているところである。今後、各所管にPTAの負担軽減への協力依頼を行っていく予</p>

座長	<p>定としている。次回、そのあたりの状況についてお知らせできればと思っていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で、第3回川西市PTAあり方検討会を終了する。次回の出席と建設的な意見について、よろしくお願いいたします。</p>
----	---